



こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、環境について知りたいことや興味のあることを調べたり、環境に優しい暮らし方を実践していくクラブです。佐世保市では、7月現在27団体が登録し、活動しています。今回は、リサイクルを中心に活動している「こばと学童クラブ」をご紹介します。

楽しみながらリサイクル

こばと学童クラブは、早岐の中心部にあり、近隣の9つの小学校から放課後に児童が集まる放課後児童クラブです。

平成14年にこどもエコクラブに登録し、現在は、会員は32人。普段は、放課後を利用して、ペットボトルや古布などを使った工作や、牛乳パックで手すきのはがきを作るなど楽しみながらリサイクルしたり、近くの公園を清掃したりしています。

また、ことし3月に、佐世保市で開催された「こどもエコクラブ全国



ハウステンボスの生ごみリサイクル処理施設を見学し、生ごみからリサイクル処理されたたい肥の温度を調べる子どもたち



毎月1回、回収した缶類や古紙などの資源物を、回収業者に持ち込みます

資源物を回収して車いすを

フェスティバル」に参加し、全国のクラブ員と交流したほか、5月にはハウステンボスで環境調査を行うなど、活発に活動しています。

去年12月に「こばとつ子基金」を設立しました。併設している保育園の保護者にも呼び掛けて、資源物を回収し、毎月1回、回収業者に持ち込んでいます。

換金したお金で車いすを購入し、施設などに贈ることが目標です。



こばと学童クラブ
リーダー
さかもと たかのり
坂本 貴則君
(江上小学校4年)

これまでの活動の中で一番印象に残っているのは、ハウステンボスで環境調査をしたことです。ハウステンボスの運河はとてもきれいでした。汚水を何度も処理して、運河には一滴も汚水を流さないようにしているからだそうです。ワッセナー(別荘地)の海では、カキが、水をきれいにする働きがあることを学びました。

また、生ごみを処理したい肥にする施設も見学しました。そのたい肥をもらって帰り、家で土とたい肥の温度の上がり方の差を調べています。

今後の目標は、回収した缶などを処理業者を持って行き、もらったお金で車いすを買うことです。

今度、森でどのくらいのごみが捨てられているのかを調べてみたいですね。



こばと学童クラブ
代表サポーター
さかい かなえ
坂井 央絵さん

昨年の夏に、市環境部の「どこでも環境教室」を招き、ごみの分別などについて学習会を開きました。職員の人々が着ている作業服がペットボトルの再生品であることや、ペットボトルはラベルとキャップを外して捨てることで、初めて資源になることなどを学びました。子どもたちは家族にも教えてあげ、保護者の方からもごみの分別に関して反響がありました。

昨年からは、回収した資源ごみを回収業者に持ち込んでいます。子どもたちは、何気なく捨てているごみがお金に換わることに驚いているようです。しかし、子どもたちに「ごみ」が「資源」として生かされていることを実感として分かっています。実際には、なかなか難しいです。実際に再生工場などを見学させたいと思っています。

きょうから、わたしたちができること

再生商品を使ってこそ、はじめてリサイクル

リサイクルは資源物を回収するだけでなく、回収したものを再生されたものを利用して、はじめて1回転します。

商品などを購入する際には、品質や価格を考慮するだけでなく、できるだけ環境への負担が少ないものを優先的に購入することを「グリーン購入」と言います。

左のマークを目安に、積極的にグリーン購入を進めましょう。



グリーンマーク



再生紙使用マーク



エコマーク

1人1日マイナス200グラムのごみダイエット

リサイクルは、ごみの減量や資源の節約につながりますが、リサイクルにも費用やエネルギーが必要なことを忘れてはいけません。できる

けごみを作らないことが重要です。わたしたちは、1人1日当たり、1,202グラム(平成14年度平均)のごみを出しています。このごみを1日200グラム減らすと、佐世保市全体で、1年間で約1万7千5百トンの減量につながり、その処理費用は約5億9千万円節約できます。

減量の目安

- ・ 詰め替えできる商品を選ぶと・・・
- ・ シャンプー容器(マイナス60g)
- ・ レジ袋(マイナス10g)
- ・ 返却できるものは返却すると・・・
- ・ 食品トレー(マイナス5g)
- ・ 食べ残しをしないと・・・
- ・ ごはん1膳(マイナス150g)

3つのRを続けましょう

「ごみを出さない(リデュース)、再利用する(リユース)」生活を心掛け、それでも出てくるごみは、資源として利用(リサイクル)しましょう。

ごみを作らない・出さない
リデュース

使えるものは工夫して何回でも使う
リユース

資源として利用する
リサイクル



ごみゼロフォーラム

ごみについて、一緒に考えてみませんか

増え続ける佐世保市のごみについて、減量化を考えるフォーラムを開催します。

市民パネリストを募集

フォーラムでは、家庭のごみ(可燃ごみ)の有料化の是非を含め、ごみの減量化について市民の皆さんを交えたパネルディスカッションをします。当日参加して下さる市民パネリストを募集します。

- 募集人数 若干名
- 応募方法 住所、氏名、性別、電話番号を書き、「ごみの減量と有料化について」をテーマに、原稿用紙1,000字程度にまとめた作文を添えて郵便でどうぞ
- あて先 ⑧57-0851、稲荷町1-8、市環境部総務課
- 締め切り 9月20日消印有効

- とき 10月4日(土)14時~16時
- ところ アルカスSASEBO・大ホール
- 内容 基調講演、パネルディスカッション(公開討論会)など
- 入場料 無料

お尋ね 市環境部総務課 (☎⑧6520)



市環境部が行っている「どこでも環境教室」を招いて、ごみの分別について学習するこばと学童クラブの子どもたち